

VAWW-NET Japan

バウネット・ジャパン [編]

vol.1

戦犯裁判と性暴力

vol.2

加害の精神構造と戦後責任

vol.3

「慰安婦」戦時性暴力の実態 I
日本・台湾・朝鮮編

vol.4

「慰安婦」戦時性暴力の実態 II
中国・東南アジア・太平洋編

vol.5

女性国際戦犯法廷の全記録 I
法廷ドキュメント

vol.6

女性国際戦犯法廷の全記録 II
判決

二〇〇〇年女性国際戦犯法廷の記録
日本軍性奴隷制を裁く



2001年度山川菊栄賞特別賞受賞
2002年JCJ特別賞受賞

編者 **VAWW-NET Japan** [バウネット・ジャパン]

正式名称は「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク (Violence Against Women in War-Network Japan)
代表 松井やより 副代表 中原道子 西野瑠美子
1997年秋、「戦時・武力紛争下の女性への暴力をなくすために、「女性の人權」の視点に立って平和を創る役割を担い、世界の非軍事化をめざす」(「東京宣言」)ことを目的に「戦争と女性への暴力」ネットワーク (VAWW-NET) が誕生。翌98年6月には、同日本ネットワーク (VAWW-NET Japan) が結成された。「慰安婦」問題では、2000年12月「日本軍性奴隷制を裁く女性国際戦犯法廷」を提案、開廷した。

本書を推薦します。

落合恵子 作家
時代によって、社会によって、いかようにも変わり得る「正義」。

ここに、「個」を分断するすべての枠を越え、人權を軸とした正義が誕生した。

ノーマ・フィールド シカゴ大学教授
正義を実感させてくれた法廷は

奇跡だったのか。正義は奇跡であってはならない。本シリーズは世界の必読書。

大越愛子 近畿大学文学部教授
女性に対する暴力の不処罰の循環を裁つ

画期的な判決文。フェミニズムの集大成であり、今後の出発点となるう。

吉見義明 中央大学教授
「慰安婦」問題の究明と解決に取組んだ

多くの人々の、この一〇年間の大きな成果がこのシリーズに結集されていると思います。

高橋哲哉 東京大学助教授

この法廷を実現させた女性たち、市民たちの勇氣は、戦争の廃棄をめざす世界の人々の希望であり続けるだろう。

緑風出版

東京都文京区本郷2-17-5 ツイン壱岐坂 [振替] 00100-9-30776
〒113-0033 [電話] 03-3812-9420 [FAX] 03-3812-7262

ご注文の際はご記入の上切り取って、最寄りの書店にお申し込み下さい。小社への直接注文の場合、冊数に関係なく、1回につき送料310円がかかります。

注 文 書	責任者 名 合 印	緑風出版 東京都文京区本郷2-17-5 ツイン壱岐坂 〒113-0033 [電話] 03-3812-9420	お名前
		バウネット・ジャパン [編] シリーズ 日本軍性奴隷制を裁く 2000年女性国際戦犯法廷の記録 [全6巻]	ご住所
		第 巻から 第 巻まで	電 話

【第一巻】 戦犯裁判と性暴力



責任編集 内海愛子・高橋哲哉
内容 執筆者

三三三頁 28000円十税

【第二巻】 加害の精神構造と戦後責任



責任編集 池田恵理子・大越愛子
内容 執筆者

三四四頁 28000円十税

【第三巻】 慰安婦 戦時性暴力の実態 I



責任編集 金富子・宋連玉
内容 執筆者

三四七頁 30000円十税

【第四巻】 慰安婦 戦時性暴力の実態 II



責任編集 西野瑠美子・林博史
内容 執筆者

三八三頁 34000円十税

【第五巻】 女性国際戦犯法廷の全記録 I



責任編集 松井より・西野瑠美子・金富子・林博史・川口和子・東澤靖
内容 執筆者

三五一頁 34000円十税

【第六巻】 女性国際戦犯法廷の全記録 II



責任編集 松井より・西野瑠美子・金富子・林博史・川口和子・東澤靖
内容 執筆者

四四三頁 39000円十税

「人道に対する罪」の成立。清水正義「戦時性暴力とミリスル」国際軍事裁判。芝 健介「戦時性暴力と東京裁判」。内海愛子、B.C.織野「イギリス裁判」。林博史「中華人民共和国の戦犯裁判」。新井利男、イスラエルのアイヒマン裁判。白 輝「フランスの戦犯裁判」。渡辺和行「ベトナム戦争とラオス法廷」。古田元夫、田口コウジ「朝鮮」。川口博「南アフリカ」。永原隆子「ラテンアメリカ大串和雄」。国際刑事裁判所。東澤靖「獄ごと」判断すること。高橋哲哉

天皇の軍隊の特色。藤原彰「男性神話から女性兵士の精神構造」。彦坂 謙「全米空軍は「従軍慰安婦」問題を無視したのか」。田中利幸「旧日本軍兵士の加害意識」。井上摩耶「旧日本軍兵士の性行動」。池田恵理子「日軍性奴隷制問題と天皇の戦争責任」。鈴木 謙「仏教受けた加害者の責任」。源 洋子「昭和天皇の戦争責任と戦争責任」。山田 剛「日本人としての責任」。再考。徐彦博「戦後日本のフェミニズムと慰安婦問題」。山下明子「戦争学」。戦争責任論とシスター。大越愛子

公娼制度から「慰安婦」制度への歴史的發展。宋連玉「従軍慰安婦」政策と日本国家の指揮命令系統。古見美明「日本人」「慰安婦」。西野瑠美子・沖繩と軍「慰安婦」。浦崎成子「台湾殖民地支配と慰安婦問題」。駒込 武「台湾原住民族「イタパカ」の場合」。中村かほ「露島」。白河 麗「阿留島の被害」。その後。柴 洋子「朝鮮植民地支配と慰安婦制度の成立」。藤野 麗。水津 河津淑子のケースにみる軍慰安所。金富子「朝鮮半島」。川口和子「中国」。朝鮮。大串和雄。慰安所の実態。従軍慰安所。太平洋戦争終結者補償対策委員会。朝鮮人朝野。安婦帰国後の生と経緯。李相和

内容 執筆者 石田米子・大森典子「中国の慰安所に関する調査報告」。陳麗芳・蘇智良「南京大屠殺下における日本軍の慰安所」。松岡 環「天津の日本軍慰安所」。松本アトム「蘇州」。張友棟「中国での慰安所設置と慰安婦」。西野瑠美子「中国での日本軍による性暴力の構造」。藤原十九司「フレイビヒの「慰安婦」性暴力の実態」。上田敏夫「フレイビヒ/ペナイ島における性暴力」。横田雄「フレイビヒ/マニゲ村」。岡野文彦「インドネシア「慰安婦」問題」。木村公「ビタの慰安婦」。性暴力被害者。森川万智子「報告とケア」。アムル「慰安婦」問題。伊藤直子「報告とマレーシアの性奴隷制」。中原道子「東南アジアの日本軍慰安所」。林博史

責任編集 松井より・西野瑠美子・金富子・林博史・川口和子・東澤靖
内容 執筆者 第二部 ドクメント 女性国際戦犯法廷——二〇〇二年二月八日・〇日・二日の記録
第二部 女性国際戦犯法廷の意義と展開 松井より「法廷」が映し出したもの
阿部浩己「民法法廷としての法廷」。川口和子「法廷は何を再審したのか」。内海愛子
裁かれた戦時性暴力とフェミニズムの課題。大越愛子

責任編集 松井より・西野瑠美子・金富子・林博史・川口和子・東澤靖
内容 執筆者 第二部 共通起訴状 各国起訴状
第二部 判決文(二〇〇二年二月四日、於オランダ・ハーグ)

いま、歴史の沈黙が破られる
Violence Against Women in War-Network Japan

半世紀以上のあいだ匿されてきた日本軍の戦時下性犯罪を裁き、責任の所在を明らかにし、被害者(サバイバー)たちの正義と尊厳を回復することは、いかにして可能なのか。国際法の原則、人道法、人間の良心、普遍的価値……そして、初めてジェンダー正義の視点からラディカルに戦争犯罪を問いただした「日本軍性奴隷制を裁く2000年女性国際戦犯法廷」。その集大成である本シリーズは、同法廷開廷(2000年12月)から判決言渡(2001年12月)までの重要文書・証言・資料に加え、法廷当日の克明なドキュメントと関連論文を一挙収録した、貴重な思想的達成の記録である。